

高井戸地域区民センター協議会 講座案内

講座名・講師等	開催日時	定員・対象	会場・費用	申込方法・申込締切日	摘要
スマホ教室〈初心者向け〉 「ホームページから スマホで簡単応募」 ～スマホでホームページからの 応募が簡単になる裏ワザを紹介～ 講師:竹箒の会(たけぼうしのかい)	6/13(金) ①10:00～11:30 ②13:00～14:30	各20名 どなたでも	高井戸地域 区民センター3階 第1・2集会室 無料	往復はがきまたは 協議会ホームページから ・申込み多数の場合は 抽選(抽選の結果は 個別にご連絡します) 【申込締切】 5/30(金)	長寿 ・持参する端末機器 を申込時に明記 (スマホ・タブレッ ト・ノートPC) ・スマホ貸出希望者 はその旨を明記 ・手話通訳希望の場 合は申込時に明記

ご案内 令和7年度 定期総会のご案内

当協議会の活動に関する議題が付議され、質疑応答、採決等が行われます。どなたでもご出席いただけます。

【日時】5月23日(金) 午後1時30分～
【会場】高井戸地域区民センター3階 第1・2集会室
【議題】1.令和6年度の事業報告・決算報告・監査報告
2.令和7年度の事業計画案・予算案
3.その他

開催予告 第39回 高井戸ちびっ子ぼんおどり

今年は7月30日(水)と31日(木)に開催します!!
詳細は、「たかいどだより」7月号・協議会ホームページに掲載します。

講座・イベントの申込方法

往復はがきの場合

原則としてはがき1枚につき1名1講座または1イベント。
応募多数の場合は抽選となります。
往信用—講座名やイベント名・住所・氏名(ふりがな)・年齢・
電話番号を明記してください。
返信用—宛名欄に申込者の住所・氏名をお書きください。
※往復はがきの料金不足にご注意ください。
送付先 〒168-0072 杉並区高井戸東3-7-5 高井戸地域区民センター協議会 TEL(3331) 7980

返信(表面)	返信(裏面)	返信(表面)	返信(裏面)
85 〒168-0072 杉並区高井戸東3-7-5 高井戸地域区民センター 協議会行 ここに何も記入しないで ください		85 ご自分の郵便番号 ご自分の住所 ご自分のお名前	①講座名・イベント名 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号

協議会ホームページの場合

高井戸地域区民センター協議会ホームページの「イベント」または「講座」からアクセスして <https://takaido-kyogikai.org/>
ください。抽選結果は個別にメールにてご連絡します。応募は重複しないよう、1回限りでお願いします。



長寿 杉並区長寿応援ポイントがもらえます(4月から対象年齢が変更になります).....

高井戸地域区民センター協議会が行う講座等の事業の多くは、杉並区長寿応援ポイント事業の「いきがい活動」に登録されてい
ます。60歳以上の方が当協議会の「長寿」と記された講座等に参加された場合、1ポイントのシールを配布します。
長寿応援ポイント事業の詳細については、杉並区長寿応援ポイント担当 TEL(3312) 2111(代表)へお問い合わせください。

高井戸地域区民センター・上高井戸区民集会所 お知らせカレンダー

イベント イベント開催日 講座 講座開催日 高休 高井戸地域区民センター 休館日 上高休 上高井戸区民集会所 休館日

5 月						
日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 上高休	13	14 ゴミの日	15	16	17
18	19 高休	20	21	22	23 定期総会	24
25	26 上高休	27	28	29	30	31

6 月						
日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1	2	3	4	5	6	7
8	9 上高休	10	11	12	13 スマホ教室	14
15	16 高休	17	18	19	20	21
22	23 上高休	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

たかいどだより

2025年5月
(令和7年)

No. 337

発行: 高井戸地域区民センター協議会 編集: 広報部 ☎/ FAX 3331-7980 <https://takaido-kyogikai.org/>
高井戸地域区民センター 〒168-0072 杉並区高井戸東3-7-5 ☎3331-7841(代)
上高井戸区民集会所 〒168-0074 杉並区上高井戸1-15-5 ☎3329-0605(代)



3月2日(日)、第9回「高井戸狂言会」が開催され、多数の応募者から抽選で選ばれた330名が参加されました。
演目は、重要無形文化財各個指定(人間国宝)であり、杉並区名誉区民でもある山本東次郎氏主宰の大蔵流狂言
山本会による「居杭」、「しびり」、「悪太郎」の三番。前半二番には子方(子役)も演じ、狂言ならではの滑稽なしぐ
さやセリフに笑いがこぼれました。
後半は、「狂言のこころ」と題して山本東次郎氏による講演があり、各演目について解説されました。会場から
の質問を受け、「狂言は、人間の愚かしい心理を描くが、あからさまな表現はしない」「相手の人格を大事にする
から言い分を押し付けず、表現をぎりぎりに抑えて観客に感じ取ってもらう」と話されました。
最後に、小舞「雪山」をご披露いただき、会場は盛大な拍手に包まれました。
次回の「高井戸狂言会」は、来年3月7日(土)の開催を予定しています。どうぞご期待ください。

地域の安全・安心を守る
杉並消防団第九分団

「高井戸消防まつり」で操法訓練を披露されている“杉並消防団第九分団”について、分団長の木下克利様にお話を伺いました。

区内には杉並消防団（第一分団から第九分団）と荻窪消防団（第一分団から第七分団）があり、杉並消防団第九分団は高井戸地域を担当しています。

団員は現在46名（女性3名を含む）。平均して40代後半で、自営業が8割・会社員が2割です。入団のきっかけは、親が団員であったり、地域の方からの呼びかけであったりします。自分も父親が消防団員で、かつ周囲の誘いもあって入団しました。

重要な行事は年5回。「初出式」「操法大会」「水防訓練」「参集訓練」「特別警戒パトロール」。その間に地域の防災訓練やイベントに参加するとともに、いざという時に備えて日々訓練をしています。

今は、6月にある「可搬ポンプ操法大会」に向けて猛訓練中です。過去に杉並区の大会で優勝し、区の代表として都大会に出場できました。

現在の課題は若年層の団員の確保で、いろいろ広報活動をして呼びかけています。

消防団に入って良かったことは、異業種の仲間と知り合い、その仲間と共に地域を守れることです。またパトロールなどの活動をする中で、地元の方から“ありがとう”“ご苦労さま”などの感謝や激励の言葉をかけられることです。



高井戸消防まつり(2024) 消防操法訓練披露

社会福祉法人「浴風会」創立100周年



今年(2025年)、「浴風会」は創立100周年を迎えました。

高井戸地域と共に歩んだ100年をふり振り返り、浴風会の過去・現在・未来について、社会福祉法人 浴風会の有坂幹朗地域サービス部長にお話を伺いました。

一発足の経緯・趣旨は

1925(大正14)年に関東大震災で被災した高齢者を救護する施設として「財団法人浴風会」が発足しました。当初の在園者は病弱の方も多かったため、定員500人の日本初の病院併設の老人養護施設として設立されました。

一現在の組織や規模は

時代、時代のニーズに応えることにより、現在では、介護・福祉・医療施設の入所定員が1,500人、そのほか地域包括福祉センターやケアスクール、認知症介護研究・研修センターの運営など地域医療と福祉の拠点として事業を展開しています。

一運営のモットーは

地域との繋がりを強く意識し、「地域と共に未来を拓く」をモットーにしています。

一今後に向けての課題は

少子高齢化社会を迎え、福祉を支える人材確保や認知症高齢者への対応が大きな社会課題となっ

ています。

こうした中、在宅で生活されている要介護の高齢者・障害者等をいかに支援していくか、また、国内有数の認知症研究機関・認知症疾患医療センターとして、認知症対策に力を注いでいくことがこれからの「浴風会」に課せられた課題と考えています。

一地域の皆様に一言

歴史ある宿場町高井戸で、やさしさあふれる地域づくりを「チーム高井戸」によって実現しましょう！



浴風会本館

2月1日(土)に日本赤十字社東京都支部の協力のもと「防災フォーラム2025」が開催され、84名(子ども7名を含む)の方が参加されました。

第一部は講演で「令和6年能登半島地震での日本赤十字社の活動」と題し、現地での経験談を臨場感あふれる現場写真を交えて説明されました。

第二部では“ひなんじょたいけん～避難所をつくるカードゲーム～”を行いました。5～6名で1グループ(16グループ)になり、自らが避難所の所員と仮定し、避難所となる学校の体育館、校舎等が描かれた大きな紙に、刻々と変化する避難状況が記載されたカードを配置していくゲームで、貴重な避難所運営の疑似体験をすることができました。



桜の季節が終わり
少し寂しくなるかと思いきや
神田川沿いには新緑があふれ
その鮮やかな色が
新たな季節へと
背中を押してくれます

フォトグラファー 磯部 万里 氏

